

## 2023年度第1回理事会(臨時)



男子日本代表チームのフィリップ・ブラン監督はオンライン記者会見で、今シーズンについて「2023年は私たちのオリンピック計画にとって重要な年。大会数が多く、10月に東京で開催される『FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023』(以下、OQT)でファイナルを迎える。パリ2024オリンピックへの切符を獲得するためには何よりFIVB世界ランキングにおいてアジア首位のポジションを維持すること、またOQTで出場権を獲得することが求められる」としました。昨年のスローガンを踏襲しつつ、OQTでパリ2024オリンピックの出場権を掴む、という意味のサブタイトルをつけ、『ALL for PARIS ~Catch Our Dream~』をチームの今季スローガンとして掲げました。

女子日本代表チームの眞鍋監督は2023年度のキックオフ記者会見で「来年行われるパリ2024オリンピックでメダルを獲得するのが最大の目標。そのためには、OQTで出場権を獲得したい。また、今シーズンのチームスローガンを発表し、「今年は『OVERTAKE』。世界を越えよう、というスローガンとともにこの1年間やっていく。去年は『Breakthrough』、世界への突破口を見出そうというスローガンだったが、世界選手権やVNLでも目標を達成することができ、ある程度世界に追いついたと思う。今年はさらに世界を追い越したい」と説明しました。

2023年4月20日に開催された2023年度第1回理事会(臨時)の概要をお知らせします。

### <決議事項>

#### ●理事候補者の決定について（評議員会上程）

理事候補者選定委員会は2023年3月～4月にかけて3回にわたり開催され、理事及び加盟団体から推薦された理事候補者の選定が行われた。本理事会では、理事候補者選定委員会で選定された候補者についての審議を行い、6月の定時評議員会に上程される候補者が決定された。なお、6月15日の定時評議員会の終結の時をもって現理事は任期満了となる。

## ●委員会委員長の選任について

アスリート委員会	山本 隆弘	委員長退任
アスリート委員会	櫻井 由香	委員長代行就任（新任）
ビーチバレーボール強化委員会	牛尾 正和	委員長退任
ビーチバレーボール強化委員会	君島 知喜	委員長就任（新任）

JVA 全委員会委員長および委員の任期は6月15日の定時評議員会後の次期体制が立ち上がる時までである。アスリート委員会は6月の改選時で新たな委員長を選任することが現時点で確定しているため、櫻井氏は委員長代行とする。ビーチバレーボール強化委員長の交代については、4月より役職を細分化したことにより、牛尾氏はテクニカルな部門に特化いただくこととし、君島氏がプロジェクトリーダーとして、委員会を束ねていくことが委員会内で決定された。

## ●JVA 組織基盤の改革について

JVA ガバナンス改革の方針決定については次回の理事会に持ち越しとなったが、改革の範囲を拡大して推進していくためにも「法人化プロジェクト」から、新たに立ち上げる「組織基盤改革プロジェクト」に移行することが決定された。

### <報告事項>

#### ●令和5年度 JOC コーチ等設置事業における推薦候補者について

3月31日付で、日本オリンピック委員会のコーチ等設置事業の候補者推薦を行った。ハイパフォーマンスディレクターに矢島本部長、ハイパフォーマンスアシスタントディレクターに川合庶本部長、ナショナルヘッドコーチに、フィリップ・ブラン監督・眞鍋監督を、その他の役職にインドアチームスタッフ6名、ビーチバレーボールチームスタッフ2名を候補者としている。このまま承認を受ければ、日本オリンピック委員会から直接雇用いただき、交付金が助成され活動していくこととなる。

以上

発行：公益財団法人日本バレーボール協会  
電話：03-5786-2100 FAX：03-5786-2109

発行人：業務執行理事 兼 事務局長 村上成司  
E-mail：generalaffairs@jva.or.jp